

外来担当表

外来窓口	科名	時間	月	火	水	木	金
25 形成外科	形成外科	午前	—	吉村 希 安立 弘太	—	吉村 希 安立 弘太	—
		午後	—	—	—	—	—
23 歯科口腔外科	歯科口腔外科	午前	山内良太	三島 11:30~12:30 (第1,第3,第5予約のみ) 山内 (完全予約のみ)	山内良太	山内良太	山内良太
		午後	小手術 (予約のみ)	小手術 (予約のみ)	小手術 (予約のみ)	小手術 (予約のみ)	小手術 (予約のみ)

※外来担当表は、予告なく変更される場合がございます。来院前に必ずお電話でご確認ください。
※休診予定については、お電話にてご確認ください。連絡先:083-262-2300 (代表)



Doctors File 16



形成外科
「創造する外科」

歯科
口腔外科

「あごと口の外科治療、
周術期のお口の管理をおこないます」



はじめに

形成外科という診療科がいったいどんな病気を治すところなのかよく分からないというお声をよく耳にします。形成外科とは、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対してあらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常に、より美しくすることによって、みなさまの生活の質 "Quality of Life" の向上に貢献する、外科系の専門領域のひとつです。

対象疾患

当院では、外傷、顔面骨骨折、熱傷(やけど)、褥瘡(床ずれ)、難治性潰瘍、瘢痕(傷あと)、ケロイド・肥厚性瘢痕、小児形成外科、皮膚・皮下良性腫瘍、皮膚悪性腫瘍、加齢性眼瞼下垂症、乳房再建術等を対象に診療を行っています。



・褥瘡(床ずれ)

褥瘡(床ずれ)は、体のある部位が長時間圧迫されたことにより、その部位の血流がなくなった結果、組織が損傷されることです。長時間寝たきりを余儀なくされる方や脳血管障害や脊髄疾患等で運動障害のある方に発症しやすく、骨が突出している部位に好発します。治療は全身管理と局所管理の双方からのアプローチが大切です。全身管理は看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士などのコメディカルと連携して管理を行いながら、褥瘡部の局所管理は主に形成外科で行っていきます。必要であれば局所陰圧閉鎖療法や局所皮弁手術を行い、早期治癒を目指します。

・難治性潰瘍

難治性潰瘍の原因は様々ですが、なかでも静脈が動脈の流れが悪いために生じるものや、糖尿病や膠原病などの内科疾患によるものなどが多いです。まず、傷が治らない原因を究明し、その原因別に治療をしていきます。例えば、血管の流れが悪い場合は、心臓血管外科医師と連携をとり、動脈の流れを改善する治療、流れの悪い静脈を抜去する治療などが検討されます。また、重度の糖尿病が原因にある際は糖尿病内科と連携をとるなど、他科の先生方と協力しながら治療を行っていきます。その他にも除圧サンダルやインソールを導入することで、再発予防にも力を入れております。

・加齢性眼瞼下垂症

まぶたの重たさや視野の狭さを伴う眼瞼下垂に対して手術加療を行っています。症例によって眉毛下皮膚切除術、挙筋前転術、前頭筋吊り上げ術から適した治療法を行います。眼瞼下垂症の治療は、単に視機能の改善だけでなく、頭痛や肩こりの改善や顔貌・見た目の改善につながることもあります。

最後に

形成外科で手術を受けた患者様が心から満足され、笑顔で社会復帰される姿をみられることが何よりの喜びです。下関の皆様方にも満足のいく医療を貢献出来るように今後も日々研鑽して参りますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



口腔機能管理のお手伝い

当科では全身管理の必要な抜歯や埋伏歯など侵襲的な歯科治療、腫瘍、顎口腔領域の外傷、口腔粘膜疾患などを対象とした口腔外科治療を行っています。基本的には午前中に紹介初診や再診を優先とした診察を行い、午後より観血的な外科的診療を行っております。外来での治療困難な場合や歯科恐怖症、口腔内治療時の嘔吐がつきやすい場合など極力、希望に応じた全身麻酔下での治療をしています。

山口大学医学部附属病院歯科口腔外科の三島教授を隔週でお招きし、全身麻酔下での手術指導をはじめ、専門外来としての口唇口蓋裂や口腔腫瘍の患者さまの診断、治療も行っています。また大学病院での治療が必要と判断する際には密に連携を取り早期に紹介も行っております。

当院医科における全身麻酔下での手術前後や化学療法、放射線治療など周術期口腔機能管理が必要な患者さまのご紹介を多くいただいております。他科との連携をとりつつ治療しております。あわせて患者さまの口腔への意識を引き上げ、退院後はかかりつけである歯科医院やかかりつけがない場合の歯科医院への紹介をしております。

ステント内挿術後や弁置換術後、骨粗鬆症や骨転移において使用されている骨吸収抑制作用のあるビスフォスフォネート製剤・デノスマブ製剤、心血管や脳血管の循環系における抗血小板薬・凝固薬の投薬中の患者さまなど、観血的処置のリスクのある場合や口腔領域におけるお困りごとがあれば遠慮なく当科を紹介いただき、よりよい口腔機能管理のお手伝いができればと思います。



[形成外科]



吉村 希

Yoshimura Nozomi

形成外科副科長

【出身大学】 福岡大学(平成27年)

【専門領域】

形成一般・乳房再建・眼瞼下垂症

【資格】

日本形成外科学会 専門医

一人でも多くの患者さんが
笑顔で社会復帰できるよう
患者さんに寄り添った医療を
心がけています。
御紹介宜しくお願ひ致します。

[形成外科]



安立 弘太

Adachi Kota

【出身大学】 山口大学(平成30年)

【専門領域】 一般形成

患者さん一人一人と
向き合い、最適な
治療を心掛けて
ます。

[歯科口腔外科]



山内 良太

Yamanouchi Ryota

歯科口腔外科副科長

【出身大学】 日本歯科大学(平成21年)

【専門領域】 顎口腔

【資格】

日本口腔外科学会 認定医

患者さんに安心して
おられるよう、丁寧な
丁寧な説明と治療を
心掛けています。